



シルバー人材センター通信

平成28年

第35号

1月25日発行

みなみえちぜん

迎春



新春朝霧の魚見峠からホノケ山眺望

発行・編集：公益社団法人 南越前町シルバー人材センター広報委員会

住 所：福井県南条郡南越前脇本 25-19

TEL.0778-47-3210 FAX.0778-47-3212

E-mail : minamiechizen@sjc.ne.jp URL : <http://www.sjc.ne.jp/minamiechizen/>

会員の状況 [12月末現在]

総会員数 288名

男性会員 136名

女性会員 152名

「見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験」



新年のごあいさつ

公益社団法人南越前町シルバー人材センター
理事長 杉本 佳子

あけましておめでとございます。

会員の皆様には、ご家族おそろいで、新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は当センター事業運営に多大のご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、日本はかつて経験したことのないような超高齢化時代に突入しています。

このような事態を鑑み、安倍総理は「一億総活躍社会」を提唱し、また第189回通常国会での施政方針演説で「高齢者の皆さんに多様な就業機会を提供するシルバー人材センターには更にその機能を発揮してもらいます」と演説されました。

今、センター事業は地域の担い手として必要とされる時代です。会員の皆さんは地域のお役に立ち、仲間と一緒に働き、人生を充実させたいとお考えのことと思います。「元氣よく」「仲良く」「楽しく」を合言葉に本年度を改革元年と位置づけ、会員主体の開かれた組織運営・交流活動の活性化をはかり事業を進めてまいります。行政当局のご支援ご指導を仰ぎながら一丸となって、今年も地域のために働きたいと思っております。

皆様にとって、よい年でありますようお願い申し上げます。



新年のご挨拶



南越前町長 川野 順万

新年あけましておめでとございます。

皆様方には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より事業を通じて地域づくりに多大な貢献をされておりますことに、深く敬意を表し感謝申し上げます。

さて、本町では既に高齢化率30%を超え超高齢社会となり、少子高齢化が更に進む中、地域社会の活力維持には、皆様の豊富な経験・技能・知識を次世代に伝え、社会に還元して頂き、それぞれの立場で町を引っ張っていく力強さが、活気ある町づくりに必要となるでしょう。

貴センターは地域にとって重要な役割を持ち、今後を着実に事業実績を上げ、存在はさらに大きくなると思われます。これも会員皆様の熱意と自己研鑽の賜物で、今後多様化する就業ニーズに対応しながら、いっそうご尽力いただけるものと心強く思っております。

結びに、本年も貴センターの益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸さらなるご活躍をご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

元氣な年男・年女の

ひと言



◆西大道 嶋崎 巧さん(71)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。早いものでシルバー人材センターに入会して4年目を迎える事が出来ました。

現在は運転業務に携わり中学校部活や会合等の送迎をさせて頂いています。生徒の笑顔や礼儀正しい挨拶に元気を貰っています。高齢者の事故が多発する中、安全運転に心がけ事故の無いように頑張りたいと思います。

◆湯尾 荒木 忠士さん(71)

私は、シルバー人材センターに入会し11年が経ちました。月日の流れは早いもので気持ちはまだまだ若いと思っていました。古稀も迎え過ぎ猿。今年も年男です。

シルバーの仕事では、車で病院へ患者さんの送迎や、はつらつチャレンジ教室送迎及び草刈作業等で頑張っております。認知症防止の為に身体を動かすことに心掛けています。これからの皆様の健康と共に楽しく健康管理が出来れば良いなと思っています。よろしくお願致します。

◆甲斐城 内山 恵子さん(71)

シルバー人材センターに入会し、右近家で仕事をさせて頂いています。毎日色々な新しい発見があり、又、見学に見えるお客さんとの出会いで、色々な話が聞けて楽しく仕事をしています。

これからの出来る限り続けていくつもりです。

謹賀新年

理事長	杉本 佳子
副理事長	上島 信敬
理事	朝倉 忠男
理事	飯田 春樹
理事	板本 忠士
理事	加茂 さん
理事	田中せつ子
理事	中村 収
理事	兵江 啄雄
理事	前 幹雄
理事	向山 功
理事	四ツ木善一
行政担当理事	小角 讓
監事	山本 雄治 (町監査委員)
監事	勝見 勝彦
常務	井上 英之
事務局長	三田村信英
業務主任	関 洋子
經理主任	山本 和美

本年も何卒よろしく
お願いいたします。

ボランティアで地域に貢献

シルバー人材センターでは、日頃のご支援に感謝し、10月16日（金）にボランティア活動を実施しました。三地区に別れて、97名の会員が草刈・草取り・剪定・遊具の防錆剤塗等を行いました。

センターでは、これからもこのような活動を通して、地域の皆様にセンター事業への理解を深めて貰えるよう積極的に活動が続けていきます。これからもよろしくお願ひします。

各地区の活動場所は次のとおりでした。

- 今庄地区 今庄小・中学校グラウンド周辺及び庭内
- 南条地区 南条小・中学校グラウンド周辺
- 河野地区 河野ふれあいシーサイドパーク周辺

参加者の皆様ご苦労さまでした。



接遇研修会

9月11日（金）、シルバー人材センター事業も会員の就業先あつてこそ成り立っています。相手に不快感を与えてはいけません。

そこで、県連合派遣の専門講師を迎え、接遇研修を行いました。

第一印象が大事なので、見た目も大切ですが、やはり決め手は「笑顔」とのことです。

この日は15名が参加し、鏡に映る自分の顔を見ながら笑顔づくりに奮闘しました。これからも快い接遇に努めたいと思います。



お乳の里合波 信露滝（しろたき）

滝は合波の白髭神社本殿裏の左側にあり、高さ12m、幅2mあり、水量は少ないが、涸れることはないそうです。これがお乳授けの信露滝である。

口伝によると、神功皇后が三韓征伐から凱旋後、皇子（後の応神天皇）が降誕したが、母乳がたらないので、武内宿弥が心配して、神々に祈願したところ、「越の国三尾の里（八飯・宇津尾・橋立広野の村々）の西面に滝がある。その水を飲むとよい」とお告げがあり、早速実行するとその効果があった。よって白髭神社は乳の神として遠近に聞こえ、祈願する妊婦が絶えなかつたと伝えられているそうです。

信者は大いに喜びお乳参りに赤ん坊と参拝するとき布で乳房を作り持参して奉納し、感謝の心を表しているそうです。拝殿の周囲、天井に掛けられている乳房の奉納品の中には、女性の大切な髪の毛をそえて、奉納されているものも見受けられるそうです。

（今庄町誌より）

授乳祈願は、先ず参拝祈願者は宮守と共に、神前に一拝して、滝と境内の清掃を行い心身を清め、拝殿に入り宮守は太鼓を打ち心をこめて参拝者と共に祈願する。このとき神前に白米一升余と、神滝の水を一升ビンに入れて供え祈禱する。参拝者はこのお供え米と水を持ち帰り、これで粥をつくり母親が食べると、およそ一週間を経ると乳房が張り出し、待望の母乳が出て赤ん坊を養うに有り余る乳が出るのである。



信露滝

第6回会員のつどい開催

2月16日(火)午前10時より南条保健福祉センターで恒例の「会員のつどい」を開催いたします。只今実行委員会で催事の内容を検討しています。お昼をはさんで楽しいひと時を過ごしませんか。参加をお待ちいたしております。詳細は2月の地区懇談会でお知らせいたします。お楽しみに。

新入会員のご紹介

- 上野 細井ゆきえさん
- 西大道 岡田 英男さん
- 今庄 山田よし子さん
- 今庄 斉藤 洋子さん
- 糠 田中 瑞江さん
- 甲楽城 横井一二三さん
- 西大道 大久保 豊さん
- 今庄 寺田 豊子さん
- 湯尾 赤星 美幸さん
- 糠 壁下 明美さん
- 河野 栗林 富平さん
- 河野 栗林 節子さん
- 上野 小池美恵子さん
- 湯尾 堀井眞理子さん

以上 14名のみなさん
【8月から12月までの加入者】
よろしくお願いたします。

理事会報告

第2回理事会 (7月24日開催)

審議事項

- ①平成26年度決算期における剰余金の積立処理について
- ②職員給与規程及び旅費規程の一部変更について

報告事項

- ①会員の入会について
- ②平成27年6月末事業実績について

第3回理事会 (8月25日開催)

審議事項

- ①平成28年度就業単価設定について
- ②平成28年度事務費の改定について
- ③空き家サポート事業の導入について

報告事項

- ①会員の入会について
- ②委員会報告について
安全委員会

- ③地区懇談会経過報告について
- ④平成27年度7月末事業実績について

第4回理事会 (10月23日開催)

審議事項

- ①平成27年度9月末事業報告並びに収支決算報告及び監査報告について
- ②会費規程の一部変更について

- ③事務費規程の一部変更について
- ④シルバー保険(賠償責任保険)の賠償範囲について
- ⑤平成28年度就業単価の改定について

報告事項

- ①会員の入会について
- ②福井県シルバーフェスタ経過報告
- ③安全就業に関する講習参加状況について
- ④会員互助会旅行結果について
- ⑤シルバーボランティアの結果について(97名参加)

第5回理事会 (12月17日開催)

審議事項

- ①特定個人情報事務取扱基本方針及び規程の設定について
- ②平成28年度事業計画について
- ③会員より徴収する「シルバー保険承諾書」の内容について

報告事項

- ①会員の入会について
- ②委員会報告について
安全委員会
広報委員会

- ③労働局検査経過報告
- ④若狭町シルバー人材センターとの交流会経過報告
- ⑤新システムへの移行作業について
- ⑥職員研修経過報告
石川県羽咋市シルバー人材センターにおける事業取組について研修を実施

編集後記

〓 一年の計は元旦にあり〓
昨年出来なかったことを今年の目標にして、計画をたててみてはいかががでしょうか？

なかなか思うようにいかないのですが、「小さなことからコツコツと」を motto に無理せず続けることが三日坊主にならないコツだそうです。

一年経つのは早いもので年内には少しも達成感を味わいたいものです。

昨年末からスーパードライニョ現象で暖冬異常が続き、向日葵が咲き、土筆が芽を出した等、各地で異変がおきています。一月には雪が降り大寒が過ぎ、節分、立春となり、春の訪れを感じ、四季折々を感じられる本来の季節が来てほしいものです。

夏にはリオオリンピックがあり、選手から「勇気と感動」をもらい、仕事に運動にシルバーパワーを発揮して、今年も一緒に頑張りましょう。よろしくお願いたします。

(広報委員 今村 良子)

